

22. 分離動詞

1. 動詞はしばしば他の品詞、例えば前置詞、形容詞、副詞や名詞などとともに熟語を作ります。英語で *stand* という動詞に *up* という単語を加えると「立ち上がる」「起き上がる」という意味になります。

I stand up at 7.

ドイツ語でも同様に、上の例と同じ文をドイツ語であらわすと次のような文になります。

Ich stehe um 7 auf.

stehen「立つ」と *auf* で「立ち上がる」「起き上がる」という意味になりますが、英語と違って *auf* は動詞のすぐ後ろではなく、文の末尾に置かれていることに注意しましょう。これは、英語では動詞と一番密接に関係するものは動詞の直後におきますが、ドイツ語は英語とは違って動詞と強く結びつくものは文の一番最後におかれるからです。

この例で示した *up* や *auf* という単語は本来は前置詞ですが、ここでは名詞や代名詞をともなっていないためもはや前置詞ではなく副詞と考えられます。動詞を辞書で調べる場合は、このような副詞などともにもちいられている時はその全体の意味を調べなくてはなりません。

英語では *stand* の項目を調べて *stand up* という熟語を見つけますが、ドイツ語はそれとは違って *aufstehen* という単語を調べます。しかし実際に文章のなかでもちいるときには *auf* という部分が一番最後に離れておかれるのです。

従って、ドイツ語では動詞と熟語を作る単語は不定詞の時には動詞と一緒に使われていますが使うときには離れてしまうため、こうした動詞のことを「分離動詞」とよんでいます。

英語の場合、動詞と熟語を作る単語はそれ自体独立した単語としてもちいられる語で、ドイツ語も同様です。それらは前置詞や副詞、形容詞や名詞などのこともあります。そして、これらの単語の意味によって動詞全体の意味も変わる重要なものですから、かならずこの部分にアクセントをおいて発音します。

慣れるまではどこまでが熟語を作る前綴りあるいは接頭語で、どこからが動詞なのかわかりづらいので、辞書などではこの接頭語と動詞のあいだに細い縦線(分離線)を入れることもあります。

auf stehen	「立ち上がる、起き上がる」	<i>stand up</i>
mit bringen	「持ってくる」	<i>bring with</i>
teil nehmen	「参加する」	<i>take part</i>
weg nehmen	「取り去る」	<i>take away</i>
zurück kommen	「戻る」	<i>come back</i>

こうした例で分かるように、接頭語と動詞の意味を知っていれば全体の意味は容易に想像がつくでしょう。

2. 分離動詞を人称変化させる、すなわち不定形を定形にする場合は、かならずこの接頭語を文末におき、その部分にアクセントをおいて強く発音します。

auf stehen		stand up	
単数	複数	単数	複数
ich stehe...auf	wir stehen...auf	<i>I stand up</i>	<i>we stand up</i>
du stehst...auf	ihr steht...auf	<i>you stand up</i>	<i>you stand up</i>
er steht...auf	sie stehen...auf	<i>he stands up</i>	<i>they stand up</i>

3. 実際に分離動詞を使ってみましょう。文章の末尾におかれた接頭語に注意をして、その接頭語を強く発音します。そして辞書で動詞を調べる際は、接頭語を動詞本体の前に接合して調べなくてはなりません。

Er nimmt den Hut ab und setzt ihn wieder auf.

「彼は帽子をぬいで、またそれをかぶる」

He takes off his hat and puts it on again.

辞書では次のかたちで調べます。

ab nehmen	「脱ぐ」	<i>take off</i>
auf setzen	「かぶる」	<i>put on</i>

Der Zug fährt von Berlin ab und kommt in München an.

「その列車はベルリンを出発しミュンヘンに到着する」

The train departs from Berlin and arrives in Munich.

辞書では次のかたちで調べます。

ab fahren	「出発する」	<i>depart from</i>
an kommen	「到着する」	<i>arrive in</i>